

女性つながりサポート事業【北海道函館市】

個別事業費	5,500 千円
交付金額	4,125 千円

地域の実情と課題

市や事業所の政策・方針決定過程における女性の割合が低いことから、女性の能力の開発促進とともに、能力に見合った女性の登用拡大や、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組みを促進していく必要がある。

目的・目標

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な不安を抱える女性へのメールによる相談のほか、アウトリーチ型の相談事業およびカフェ方式のピアサポートの実施にあわせて生理用品の提供を行うことにより、女性が社会との絆・つながりを回復することを目的とする。

・多様な支援相談の目標値：133件

事業の特徴

- ・不安を抱える女性に対し、カウンセラー、公認心理師、看護師等の専門相談員によるメール、電話、対面および訪問相談の実施
- ・希望する学校・事業所等へ訪問し、相談窓口を設ける。
- ・アウトリーチ型相談イベントを開催し、様々な不安を抱える女性が社会との絆・つながりを回復できるような講座等の実施と合わせてカフェ方式のピアサポートにより相談支援を行う。
- ・上記相談支援において生理用品の提供を行う。

連携団体

委託事業者
・(一財)北海道国際交流センター

その他の連携

・市の各種相談窓口(女性相談室やDV・性暴力相談等)、マザーズハローワーク、地域包括支援センターと連携するとともに、窓口での本事業の周知および生理用品の提供を行った。

事業の効果

- ・不安を抱える女性からの相談を受け、適切な支援機関へつながった。(相談件数 133件、関係機関連携9件)
- ・本事業により北海道国際交流センターが公設私設問わず、様々な相談機関等と連携したことで、女性相談機能が強化された。
- ・アウトリーチ型相談イベントは、講演会等への参加から相談支援へつながるケースがあり、困難や不安を抱える女性が解決に向けて踏み出すきっかけとなった。

今後の課題

- ・メインの相談受付方法をメールのみとしたが、メールのみで完結するケースは少なく、メールをきっかけに対面や電話での相談に移行するケースが多かった。
- ・出張型イベントを実施することで、集客に一定の効果は見られたものの、来場者の固定化などにより、事業の広がりが見られず、孤独や孤立を抱える女性への支援に繋げるためには、より一層の工夫が必要である。

事業の概要

実施内容

委託事業者:北海道国際交流センター

メールによる相談のほか、アウトリーチ型の相談事業およびカフェ方式のピアサポートの実施にあわせて生理用品の提供を行う。

(1)常設相談

メール相談:24時間受け付けし、原則3営業日以内に回答

相談支援:相談者の希望に応じてメールでの相談のほか電話や対面での相談、また、必要に応じ、関係機関と連携して支援を行う。

(2)訪問相談

相談者(学校,事業所等を含む。)からの依頼に応じて、依頼者が指定する場所において相談を受ける。

(3)出張相談(アウトリーチ型相談イベント) 年7回

・相談支援の実施

女性からの様々な悩みや直面する課題に関する相談に対応するための相談窓口を設置

・講演会等の開催

女性が抱える様々な困難をテーマとし、自立支援・意識向上を図るための講座,ワークショップ等を開催

・居場所づくりの提供

不安を抱える女性が安心して過ごせるスペースを確保し、気軽に参加することができるよう、飲み物や軽食を提供するカフェ方式のピアサポートを実施

(4)生理用品の提供

生理用品を相談支援の一環として相談者へ提供するとともに、周知用リーフレットとセットにして、函館市女性センターや本事業以外の女性相談窓口、地域包括支援センターなどの市が設置する相談窓口等を通じて配付

